



野村哲郎 新農林水産大臣を表敬訪問 畜産生産現場の実情を伝えました



松永理事

橋谷理事

金子理事長

野村農林水産大臣

鶴藺理事

長嶋理事

鈴木常務理事

◎ 訪問日:令和4年9月16日 12:03~12:23

◎ 農林水産省大臣室で、金子理事長はじめ、鶴藺理事、橋谷理事、長嶋理事、松永理事及び鈴木常務理事が、野村農林水産大臣を表敬訪問し、大臣就任のお祝いを申し述べるとともに、今、私たち畜産生産者が直面している苦しい現状を伝えました。

野村農林水産大臣からは、「今終えたばかりの定例記者会見で、飼料価格高騰などの問題に対しての記者の質問に答えてきたところであるが、なかなか難しい問題であり、いろいろと考えていきたい。」というお言葉をいただきました。

○ 大臣面会に先立ち、渡邊洋一 畜産局長、富澤宗高 飼料課長をはじめ行政担当者に面会し、我々畜産生産者が今直面している危機について実情を伝え、対策を要請するとともに、非常時である今を乗り切るための対策を要請しました。

○ 渡邊 洋一畜産局長を表敬訪問



野村農林水産大臣が定例記者会見で配合飼料価格高騰をはじめとする畜産業への対策についての記者の質問に答えている省内 TV を見た後、渡邊畜産局長に情勢を説明しました。

○ 畜産局飼料課飼料課との意見交換並びに要請



畜産局飼料課

富澤宗高飼料課長は、野村大臣の記者会見に随行していて、このときは不在でしたが、大臣室で同席されました。



飼料課では、天野宏之流通飼料対策室長、大門憲明需給対策第1班長に対応していただき、理事長から新型コロナウイルスのパンデミックや、ウクライナとロシアの戦争という異常時にあっては、生産者の自給飼料増産、代替飼料確保などあらゆる努力をしているが、それでも切り抜けられない窮状を具体的に説明し、なんとか我が国の畜産物生産継続できるよう、畜産経営者に対する国の支援を要請しました。

(文中での団体の略称標記について)

- 全日畜：一般社団法人 全日本畜産経営者協会
- 全日基：一般社団法人 全日本配合飼料価格畜産安定基金
- 工業会：協同組合 日本飼料工業会
- 〇〇県基金協会：一般社団法人 都道府県配合飼料価格安定基金協会

令和4年度第2回理事会を開催



(役員の方)

- ◎ 開催日時: 令和4年9月16日(木)(13:10~14:05)
- ◎ 開催場所: 三会堂ビル 2F会議室(東京都港区赤坂)
- ◎ 主な内容は、令和4年度前回の理事会から理事会までの事業実施状況の報告、今回の理事会以降の事業の執行計画等と運営委員1名の交代の承認でした。

◎ 概 要

令和4年度当初から理事会までの事業実施状況報告については、予算の執行状況等、全日畜の活動状況をより良く伝えるための改善として、ホームページを改訂したこと、7月5日に行ったJRA事業の「農畜連携による畜産経営の強化調査事業」(農畜連携事業)のワークショップ鹿児島会場並びに9月8日に行った「多角による畜産経営強化調査事業」(多角化事業)のワークショップ千葉会場の報告や昨年度JRA事業で実施した「自然災害に強い畜産経営の実現調査事業」が今年度のJRA調査研究発表会の発表事例に、全83件の中6件の一つに選出されたことが報告され、承認されました。

今後の事業計画については、農畜連携事業では11月に北海道帯広市でワークショップ、12月に千葉市でシンポジウムをそれぞれ開催予定。多角化事業は、WEB併用のアンケートを実施するとともに東北と西日本でワークショップを開催予定などが報告され、承認されました。

また、運営委員交代についても承認されました。

さらに、今後、生産者が生産を維持継続していくうえで、どのような問題があるか、話し合われました。

◎ 理事意見の概要

まず、JRA事業のアンケート調査は、WEB方式の併用を採用するなど、改善が見られた。

個々の生産者と結びつくために、今後とも広く会員に情報を提供することや、政治や行政への要請等に活かすため、会員からの生の声を集めることについて、可能な限り対応できるようにしてもらいたい。

コロナ感染症の拡大や戦争の勃発など世界情勢は急激に変化しているが、これらはむしろ一過性で、社会全体の流れとしては、SDGs であり、私たち畜産生産者もこれから循環型社会や脱炭素社会を目指していかないと相手にされなくなる可能性があるので、その場合、どのようなことをすることが SDGs 対応なのか分からない。また、見方によって利点にもなり欠点にもなる取り組みがあるので、それらを整理して、何が SDGs 対応で何が SDGs 対応ないかなどを具体的に皆に提示できるような取り組みを検討してもらいたい。

などの意見が出ました。

令和4年度第2回運営委員会を開催



(工業会会議室をホスト会議室としたWEB開催)

◎ 開催日時: 令和4年9月1日(木) (13:30~15:00)

◎ 開催方式: WEB(ZOOM)方式

◎ 議事概要

第2回理事会提出議題が主に説明、検討されました。

その中で当委員会では今年度のJRA多角化事業のアンケート調査手法をWEB併用方式とした部分が詳細に説明され、調査への協力依頼がなされました。さらに、理事会で出されていた、「広く会員に情報を流すこと、会員からの生の声を事務局は集めること、そして、それを要請等に生かすことを考えること」について、アンケートに合わせて、会員限定のWEB登録を募り、全日畜だよりを始め、生産者に有用な情報を提供する仕組みを構築し、徐々に実施していくことが説明され、いずれも了承されました。

(文中での団体の略称標記について)

- 全日畜 : 一般社団法人 全日本畜産経営者協会 ●全日基 : 一般社団法人 全日本配合飼料価格畜産安定基金
- 工業会 : 協同組合 日本飼料工業会 ●〇〇県基金協会 : 一般社団法人 都道府県配合飼料価格安定基金協会